

杜の便い

第39号

発行日

平成 30年8月17日

社会福祉法人 草佑会

障害者支援施設

やすらぎの杜

入所部→5月31日～6月1日 通所部→6月7日～6月8日

一泊旅行★栃木

2018年度の一泊旅行は栃木県へ行ってきました。

宇都宮餃子館・宇都宮動物園・日光江戸村で楽しい思い出を作りました。入所の旅行初日は、あいにくの雨模様となりましたが、雨具を着用して動物園や日光江戸村を周りしました。2日目は澄んだ青空のもと、それぞれの見学先を楽しみました。通所の旅行は、2日間とも天気恵まれ、快晴の中の旅行となりました。

宇都宮動物園は至近距離で動物の生態を見たり、餌やり体験をしました。動物園内には遊園地も併設されており、アトラクションに乗って楽しんだ方もいました。

栃木県といえば、宇都宮餃子！焼き餃子や水餃子・蒸し餃子・揚げ餃子などバラエティー豊かな餃子をお腹いっぱい堪能しました。

ホテルでは、毎年恒例とはなりましたが、宴会でカラオケ大会を行いました。皆さん歌って踊って大盛り上がりでした。

今年も無事に旅行を終えることができ、嬉しく思います。皆さんの心に残る旅行になっていると幸いです。

(旅行実行委員長：串田 紗希)



第40回 合同運動会!!!



5月19日（土）練馬駅から徒歩5分にある練馬区立南町小学校にて第40回練馬区障害者通所施設合同運動会が開催されました。19の通所施設に通う約400名の利用者さんが参加されました。

前日まで雨が心配されましたが、皆さんの思いが伝わったのか、晴天のもと開催することが出来ました。競技はパン食い競争、25m走、100m走、借り物競争、大玉送り、綱引き、玉入れ、300m走、施設対抗障害物リレー、フルーツ畑と10種目あり、紅組と白組に分かれて優勝を狙いました。中でも、パン食い競争ではやすらぎの杜のパンが4種類と他施設（コモパン）の菓子パンが並び、どれを狙うか迷うほど美味しそうなパンが並んでいました。借り物競争では、施設名と職員の名前が書かれたプラカードを頼りに相手を探しだし、一緒にゴールを目指しました。結果発表では、順位や種目に登場した職員の名前と施設名が紹介されるたびに大歓声が沸きました。その他の競技でも、みなさん精一杯応援や競技に頑張っていました。

結果は白組が優勝！白組を代表し、やすらぎの杜が優勝カップを受け取りました。皆さんの嬉しそうな、満面の笑みが印象的でした。

40回続いたこの歴史ある運動会が、来年も開催できるよう、また準備していきたいと思います。今回運営に携わって下さった40名のボランティアの皆様、練馬区立南町小学校、地域、各関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。また、保護者の皆様、応援ありがとうございました。

合同運動会実行委員長 丸山 利江



～研修報告～

介護現場の接遇研修

5月に「介護現場の接遇～援助技術としての接遇マナー向上のために～」という研修に参加してきました。

接遇とは、お辞儀の角度であったり、言葉遣いであったり、大きな声での挨拶であったりと、主に形式を学ぶものと私自身は思っていました。ただ、そういった形の部分をしっかり学ぶことも、社会人として大切なことと感じ、ぜひ職場に持ち帰り、新人職員向けの研修に活かしていきたいと参加に至った次第でした。

しかし、実際に研修に参加してみると、講師の方から、「一般的な接遇と、私達、福祉に従事している者に求められる接遇は違う」という話をされました。具体的には、（接遇と聞いてイメージされやすい）客室乗務員やホテルのサービス係は、お客様にとっての「非日常」（きれいさ、スマートさ）をおもてなしする一方、福祉の現場というのは、お客様（ご利用者）にとっての「日常」の生活の場で、サービスを提供することとなります。非日常と日常では、必要とされる接遇マナーが違うということです。福祉サービスのご利用者というのは、何らかの課題をかかえている方、お手伝いが必要な方が多くいらっしゃる、なかなかご自分で、尊厳や存在価値を認めることが難しい方達になります。

その為、そういった方達の心情を察し、何をお手伝いしたらいいかを、継続的に、長期的にみていくというのが大切になってくるので、福祉従事者としてこだわるべきところは、一般的な接遇マナーに加えて、心の部分であるということです。ご利用者への尊厳の気持ちをどれだけ持つことができるか、そして、それをどれだけ行動に移し、態度に表していけるかそこが求められているとのことでした。「福祉は人なり」（福祉サービスの質は働いている職員の質で決まる）という言葉の重みを実感した瞬間でした。私たちは、ご利用者の「生活の場」で働いていることを再認識し、業務優先ではなく、ご利用者の支援や介助の部分ではゆとりを持って対応していきたいと思いました。また、そうするためには対ご利用者ではない業務は効率化していく必要性も改めて感じました。

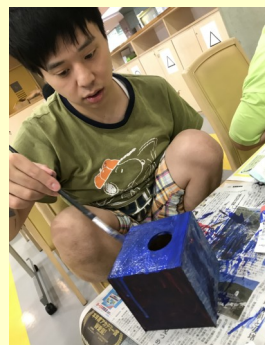
今回学んだことを、現場の支援員間で共有し、具体的に行動に移していけたらと考えております。

2階生活支援員 阿部 優香里

芸術・アトリエ活動

★6月2日（土）のアトリエ活動は『おばけの絵を描こう！』と題してみなさんでおばけの絵を描きました。職員が用意したおばけ、ゴースト、妖怪、ホラー映画などのお手本を前にアトリエ活動スタート！オドロオドロシイお手本もみなさんの手にかかるとかわいい、愛らしい、愉快的絵になりました。今回描いたみなさんのおばけの絵は埼玉県武蔵嵐山にある社会福祉法人昴まじこうばGROOVINさんで開催している《おばけの絵展》に出品させて頂いています。9月8日（土）まで開催しています。

今年の暑～い、暑～い夏はぜひたくさんのおばけたちで乗り切ってください！



↑ これがカホンできあがり ↓



★7月7日（日）のアトリエ活動は初めての試み、講師の方をお招きして『カホン』作りを行いました。『カホン』とはペルーで生まれ、ストリートを中心に親しまれてきた箱型の打楽器です。スペイン語で『箱』というだけあって本当に木の箱です！今回は『北信州カホンプロジェクト委員会』の源太先生にお越し頂き木箱に絵を描いていきました。平面の紙に絵を描くことは大得意の皆さんも立体となると難しいのかな？と思いきやそこはさすがみなさん！思い思いの色合いや模様、絵を描いて世界に一つしかない素敵なカホンを次々と完成させました。

カホンが完成した後はみなさんで演奏会！源太先生の音に合わせ、初めはバラバラだった音が最後に同じリズムを刻んだその時、そこはまるでペルーのストリートのような！

芸術委員 皆川

恵

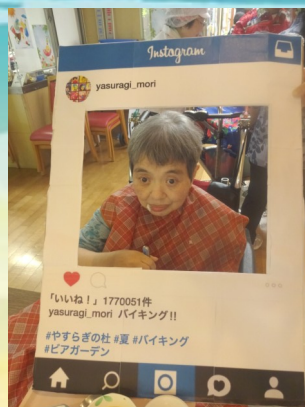
夏のバイキング

～ビアガーデン風～

8月10日に、夏のバイキングを行いました！今回は「ビアガーデン」をテーマに、ハワイアンな雰囲気と、流行りに便乗し、インスタ映えを狙ったオフジェやアイテム等の飾り付けの中スタート。メニューは「タコライス・冷たいカッペリーニ・ベーコンチーズポテト・特製ソーセージと夏野菜グリル・パン工房特製たこ焼きパン・フルーツポンチ・りんごと白桃のケーキ・枝豆」。また、テーブルには「お通し」として、さきイカやスナック菓子等を用意。「これ食べていいの！？」と驚いている方、ニヤッと笑みを浮かべている方もいらっしゃいました。

バイキングが始まると、今度はドリンクサービス。素敵なバーテンダーに扮した職員が注ぐシャンパングラスには、カラフルな金平糖とサイダーを。「綺麗だねー。かわいい！」と、好評でした。ボリュームたっぷりのお食事を召し上がり、和やかな雰囲気の中みなさんバイキングを楽しまれていました。

安全衛生委員会：辻 あゆみ



2018年 杜祭り開催!!

テーマ
～杜博覧会～

利用者さんのアートを張り巡らせて
博物館のような装飾にする予定です！

日程：2018年 9月30日（日）

時間：11時～15時

場所：練馬区関町北5-7-10

内容：模擬店、ゲーム、バザー
体験コーナー(フェルト)、舞台発表
他施設販売 等

社会福祉法人 章佑会
障害者支援施設
やすらぎの杜

〈法人理念〉
あらゆる人に
生きる夢と
勇気と
希望を提供する

〒177-0051
東京都練馬区関町北-7-10
電話 03 (3928) 3315
FAX 03 (3928) 3310
E-mail: yasuragi.mori@gol.com

